



森之宮キャンパス準備状況

2025年4月開設を目指して整備が進められてきましたが、想定外の埋蔵文化財や地下埋蔵物が発見され、さらに不発弾が発見されたことから、開設時期が半年遅れる見込みとなっています。



〈今後の予定〉

2024年度末頃 工事完了
2025年4月 移転作業開始
2025年秋 開設予定

2023年8月23日時点

大学イベント紹介

ホームカミングデー 2023年11月4日

大阪公立大学としては2回目のホームカミングデーが開催されます。お時間のある方はのぞいてみられてはいかがでしょうか。

(要事前申込 10月20日まで)

お問合せ:06-6605-3607 大学渉外企画課)

杉本キャンパス 10:00~13:00 1号館講堂

応援団による演舞、学生発表、

ウェルカムパーティー(参加費無料)等

中百舌鳥キャンパス

14:00~17:30 学術交流会館、体育館

大学祭 2023年11月3日4日5日

杉本キャンパスで第73回银杏祭が行われます。テーマは「秋晴れ(あっぱれ)」。

2020年、2021年はコロナのため中止となりましたが、昨年は3年ぶりに開催。人気芸人によるお笑いイベントやライブ、模擬店など多くのイベントが行われました。音楽系サークルだった方にはなつかしい「門とは(門限ぶっとばせコンサート)」も続いているようです。今年はどうような企画が行われるのか、楽しみですね。

大阪・関西万博



万博で公開される「空飛ぶクルマ」の社会実装に向けた調査事業において、大阪公立大学大学院工学研究科の新井隆景客員教授らが調査の実施、アドバイザーを担当しています。

〈調査事業内容〉

- ① 大阪・関西万博開催時の2地点間運航実現に向け、大阪ベイエリアの離着陸ポート候補地について、必要となるインフラや飛行航路の検証
- ② 大阪・関西万博後の商用運航の拡大を見据え、その他の有望な離着陸ポート候補地の検討と、ポートの設置に当たっての制度上の課題等について検証

空飛ぶクルマは世界各国で開発が急がれており、大阪・関西万博では目玉の1つとして期待されています。

同窓会生活動報告

前回のニュースレターと一緒にご案内した伊藤素子さん(文学部 昭62年卒)のJAZZ LIVEが7月30日、静岡にて開催されました。同窓会のみなさんが応援にかけつけられ、すばらしいライブのあとは食事会も行われました。



今後も同窓会の皆様方の活動をご紹介しますと思いますので、イベントの開催告知等がありましたら、同窓会までお知らせください。(営利目的、思想信条に関する内容のものはご遠慮ください。日程等の関係でご紹介できないこともあります)



理学部数学科 昭57年卒 生活科学部食物学科 昭56年卒
白畑 豊氏 (浜松市) **白畑 玲子氏** (浜松市)

私たちは、同級生として昭和52年4月に大阪市立大学に入学しました。杉本町では、授業がなければ「安芸」や「アート」で駄弁り、お昼は「はやし」か「アミー」や「夏爐」で栄養たっぷりの食事をして過ごしました。私は入学早々にバスケットボール部に入部、神戸出身の妻とはマネージャーとして後ほど入部してきたのが縁で、卒業5年後に結婚しました。大学生活は、学生運動による試験延期にはくそ笑みながら、バスケット、バイト(家庭教師・雀荘など)、麻雀(フランソワ)、飲み会(雪国・天鶴など)をひたすら繰り返したおかげで留年してしまい、浪人して一才年上であった私なのに、卒業は妻に1年遅れて後輩となってしまいました。

卒業後は、静岡県で数学教師として36年間勤めました。退職後、3年間の専門学校生活を経て、鍼灸師国家試験に命がけて合格。自宅で「灸処 養生庵」を開業しました。広告も出さずひたすら口コミで静かに楽しんでいます。これからの時間は、自分たちが嫌なことはしない、何事も楽しんでやろうと夫婦二人で決めています。「静岡県の高校生にはあまり馴染みのない大阪市立大学でしたが、本当に行ってよかった。」と、しみじみ思っています。



灸処 養生庵

理学部化学科 昭49年卒/理学研究科化学専攻修士 昭51年卒

大場 正春氏 (袋井市)

昭和44年、紛争の真っ盛りに理学部化学科入学。半年間授業がなく、後半の数か月で1年の課程が終了、とりあえず2年生になってしまった。ラッキーなのかアンラッキーなのか、今でも稀有な経験をした学年だな、と思います。でも、私が杉本町に降り立った時最も衝撃的だったことは、ヘルメット集団でも封鎖された門でもなく、杉本町駅の近くにあった食堂に水槽がありうまそうな魚が泳いでいたこと、そして先輩がその店に私たち新入生を連れて行ってくれ、昼ご飯を食べたことです。子供の頃、田んぼや近くの川で獲ったザリガニや田螺が晩御飯のおかずになっていた私にとっては、“お主も悪よの、ふっふっふ”とうそぶいている悪代官しかそんな店にはいかないと思っていたのだが…。庶民の文化レベルのあまりに大きな違いに頭がくらくらしたことを今でも鮮明に思い出します。(注:これは私の家が特別貧しかったのではなく、当時の寒村の普通の姿です。)



その後、修士課程を経て北大博士課程に進学、学位取得後フリーの研究者としてしばらく過ごしたのち地元に戻り、河合塾講師として10年。ある不幸な出来事をきっかけとして名城大学農学部教員に採用され、定年まで勤めました。現在は「ふくろい再エネを進める会」という地球温暖化に関する市民団体の会長に祭り上げられ、毎日あたふたと袋井中を駆け回っています。

ふくろい再エネを進める会「海から見た地球温暖化」イベントにて

ニュースレターを郵送でお送りしている方で、メール配信への切り替えをご希望の方は下記までご連絡ください。(メールの場合は、カラーでお届けしています) 会員紹介コーナーへの寄稿もお待ちしております。

支部メールアドレス ocushizuoka@gmail.com